

第7期障がい者福祉計画策定のための「手帳所持者向け市民アンケート調査」

アンケートの目的

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく障がい者福祉の市民への浸透に伴い、全国的な傾向と同様、生駒市においても障害福祉サービス・児童通所サービスの利用の顕著な伸びが認められ、障がい者施策にかかる経費も年々増大している実態がある。

現在の障がい者福祉施策が障がい者の生活にどのように浸透し影響を与えているか、また、今後、障がい者が安心して地域で住み続けるためにどのようなサービス基盤とサービス量の確保が必要かを検証するための基礎的資料とすることを目的とする。

また、令和2年4月1日に施行された「生駒市手話言語の普及並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例」による施策についても意見を聞く。

調査方法

対象者：市内に住民票を有する 65 歳未満の障がい者・児(知的・身体・精神)からの無作為抽出 1,500 件（市外施設入所者・転出者は除く）

* 参考：障害者手帳所持者数 令和5年4月1日現在

身体障害者 3,707 名・知的 820 名・精神 1,010 名（精神については、令和4年6月末現在奈良県データから）

* 予想有効回答率 65 パーセント程度

配布回収方法：郵送によりアンケート送付

無記名 郵送回答・WEB 回答

アンケート時期：8月中旬配布・9月上旬回収

内容：

① 基本属性

性別・年齢・障害種別（級）・受けている診断名等・障害支援区分・要支援、要介護認定区分・家族構成・居住の場・インターネット環境

② 生活の現状について

必要な支援・介助、支援者・介助、支援者の年齢・日中の過ごし方・外出状況（目的、頻度、困り事）・日常生活での心配（困り）事（現在、将来）

③ 福祉サービス等の利用について

障害福祉サービス等の利用状況・受けているサービスの種類・サービスを受けていない理由・今後必要な支援、サービス

④ 保険・医療について

通院状況・困り事

⑤ 就労支援について

就労の意向・就労支援として必要なこと

⑥ 相談支援や情報について

相談先・情報の入手先

⑦ 災害時の避難について

避難に際しての介助の必要性・自分の居場所の伝達手段・近隣で支援してくれる人の有無・災害時に必要な支援・「生駒市災害時要援護者避難支援事業」の認知度

⑧ 権利擁護について

「生駒市権利擁護支援センター」の認知度、利用状況・「成年後見制度」の認知度、利用状況・「障害者虐待防止センター」の認知度・障害者差別解

消法の認知度・ヘルプマークの利用状況・「あいサポーター養成講座」の認知度・あいサポートバッジの利用状況・差別などの経験の有無、場所

⑨ コミュニケーションについて

「生駒市手話言語の普及並びに障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例」の認知度・コミュニケーションの支障状況・利用した、今後利用したいコミュニケーション手段・条例による施策に関する意見

⑩ 生駒市の取り組みについて

重要度・満足度

⑪ その他 障がい福祉についてのご意見

だい きいこまししょう しゃふくしけいかく かん 第7期生駒市障がい者福祉計画に関する

しみん ちょうさ ねが 市民アンケート調査のお願い

みなさま ひごろ しせいぜんぱん りかい きょうりよく
皆様には、日頃から市政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき、まことに
ありがとうございます。

いこまし みなさま こえ れいわ ねん がつ にち
生駒市では、これまでも皆様のお声をいただきながら令和2年4月1日に
「いこまししゅわげんご ふきゅうなら しょう とくせい おう たよう
生駒市手話言語の普及並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション
しゅだん りかいおよ りよう そくしん かん じょうれい せいてい とく くみ しょう ふうし
手段の理解及び利用の促進に関する条例」の制定などにも取り組み、障がい福祉
しさく すいしん こんご しさく すす だい
施策を推進してきたところです。今後もこれらの施策をさらに進めていくため、第
7期きのしょう障がい者福祉計画(計画期間:令和6～8年度)を策定することになりました
た。

みなさま せいかつじょうきょう かんが うかが けいかく
つきましては、皆様の生活状況やお考えなどを伺い、この計画づくりに
はんえい
反映するため、アンケート調査を実施いたします。

ちょうさ たいしょうしゃ いこまし す かくしゅしょうがいしゃてちょう も
このアンケート調査の対象者は、生駒市にお住まいの各種障害者手帳をお持ち
ちのかた むさくい えら ちょうさ きにゆう ないよう
ちの方から無作為に選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、
どうけいてき しょうり ここ かいどうないよう こうひょう ちょうさもくてき
すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的
いがい しょう
以外に使用したりすることはございません。

たよう
ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、本アンケート調査にご
きょうりよく ねが
協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

れいわ ねん がつ
令和5年8月

いこまし しょう ふうしか
生駒市 障がい福祉課

【ご記入に当たってのお願い】

◇ 調査票の記入について

- ・この調査は封筒のあて名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。また、あて名のご本人が18歳未満の場合は、保護者の方がご記入ください。
- ・アンケートの回答に支援が必要な方は、以下をご利用ください。
 - ①質問の読み上げが必要な方やスマートフォン・パソコンなどでインターネットができる方は、次のURLから回答いただけます。

アンケートのURL <https:// />
 - ②視覚障がいの方で代読・代筆が必要な方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。個別に対応させていただきます。
- ・令和5年4月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を() 内に指定していますので、ご注意ください。

◇ 調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月 日 (・) までに郵送してさせていただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇ 調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

生駒市 障がい福祉課 〒630-0288 生駒市 東新町8-38

電話：0743-74-1111(内線7260) FAX：0743-74-1600

スマートフォンやインターネットができる方は、以下の URL の
WEBサイトからアンケートにお答えください。

https:// /

| | |
|---------|--|
| ID : | |
| パスワード : | |

ID・パスワードは個人を特定するものではありません。



こちらのQRコードからも
WEBサイトのアンケート
にお答えいただけます

WEBサイトからの回答は9月 日 () までです。

WEBサイトでご回答いただいた方は、アンケート用紙の返信は不要です。

生駒市障がい者福祉計画に関する市民アンケート

○このアンケートは、どなたが記入されますか。(○は1つだけ)

1. ご本人が回答
2. ご本人の意思に従い家族(支援者)が代筆
3. ご本人の意思確認がむずかしいため、本人の意思をくみ取って家族(支援者)が回答

○あなた(ご本人)のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性
3. その他※

※「分からない」「答えたくない」などを含みます

問2. あなたの年齢はおいくつですか。令和5年4月1日現在の年齢でお答えください。(○は1つだけ)

1. 0～6歳(就学前)
2. 7～12歳(小学生)
3. 13～15歳(中学生)
4. 16～18歳(高校生など)
5. 19～29歳
6. 30～39歳
7. 40～49歳
8. 50～59歳
9. 60歳以上

問3. お持ちの障害者手帳の種類すべてと手帳に書かれている障がいの程度に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障害者手帳

1-1. 障がいの内容

1. 視覚障がい

2. 聴覚・平衡・音声・言語・そしゃくなどの障がい

3. 肢体障がい(体幹機能障がいを含む)

4. 心臓やじん臓などの内部障がい

1-2. 障がいの程度

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級

2. 療育手帳

障がいの程度

1. A 2. A1 3. A2 4. B 5. B1 6. B2

3. 精神障害者保健福祉手帳

障がいの程度

1. 1級 2. 2級 3. 3級

問4. あなたの疾病の認定などについて、おうかがいします。次のうち、あてはまるものすべてお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自立支援医療費制度(精神通院医療)を受けている

2. 国が指定する難病または小児慢性特定疾病の認定を受けている

3. 高次脳機能障害の診断を受けている

4. 医療的ケアを受けている → ケアの内容も以下よりお選びください

① 経管栄養(経鼻胃管・腸ろう・胃ろうなど)

② かくたん吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ内部などの吸引)

③ 吸入・ネブライザー

④ 気管切開部の管理

⑤ 人工呼吸器の管理

⑥ その他()

5. あてはまるものはない

問5. あなたは、発達障がいの診断を受けていますか。
(自閉症スペクトラム、広汎性発達障がい、学習障がいなど)
(○は1つだけ)

1. 受けている(疑いを含む) → 問5-1へ 2. 受けていない → 問6へ

問5-1. 問5で「1. 受けている（疑いを含む）」を回答した方におうかがいします。
 診断結果について、次よりあてはまるものをお選びください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 自閉スペクトラム症 (ADS) | 2. 注意欠如多動性障がい (ADHD) |
| 3. 学習障がい (LD) | 4. 知的障がい |
| 5. 運動機能障がい | |
| 6. その他 () | |
| 7. 診断名特になし | |

問6. 18歳以上の方におたずねします。現在、障害者総合支援法の障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問6-1. 認定された障害支援区分はどれですか。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 区分1 | 2. 区分2 | 3. 区分3 | 4. 区分4 | 5. 区分5 | 6. 区分6 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

問7. 40歳以上の方におたずねします。現在、介護保険法の要支援・要介護認定を受けていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問7-1. 認定された要支援・要介護認定区分はどれですか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | |

問8. 家族構成はどれですか。あなたを中心にお答えください。

なお、結婚されている場合は配偶者も含みます。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 一人暮らし（あなたのみ） | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯世帯（あなたと子） | 4. 二世帯世帯（親とあなた） |
| 5. 三世帯世帯（あなた・子・孫） | 6. 三世帯世帯（親・あなた・子） |
| 7. 三世帯世帯（祖父母・親・あなた） | 8. あなたと兄弟姉妹 |
| 9. 施設や寮の職員や仲間 | |
| 10. その他（具体的に：_____） | |

とい 問9. あなたが、現在^{げんざい}住^すんでいるお住^すまいはどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|---|
| 1. 持 ^も ち家 ^{いえ} (家 ^{かぞく} 族 ^{しんぞく} や親 ^も 族 ^{いへ} の持 ^も ち家 ^{いえ} も含 ^{ふく} む) | 2. 賃 ^{ちん} 貸 ^{たい} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} |
| 3. 市 ^し 営 ^{えい} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} ・県 ^{けん} 営 ^{えい} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} | 4. グループホーム |
| 5. 福 ^{ふく} 祉 ^し ホー ^し ム | 6. 寮 ^{りょう} ・社 ^{しゃ} 宅 ^{たく} など |
| 7. 病 ^{びょう} 院 ^{いん} (1年 ^{いじゅう} 以上 ^{ちようき} の長 ^{ちよう} 期 ^{きに} 入 ^{いん} 院 ^{いん}) | |
| 8. その他 (具 ^ぐ 体 ^{たい} 的 ^{てき} に: _____) | |

とい 問10. あなたやご家^{かぞく}族^{ぞく}のイ^{いん}タ^たー^えネ^えツ^つ環^{かん}境^{きやう}についておたずねします。

(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 自 ^じ 分 ^{ぶん} のスマ ^{すま} ー ^と フ ^ふ ォ ^{おん} ・タ ^た ブ ^ぶ レ ^れ ッ ^つ ト ^と ま ^ま た ^た は ^は パ ^ぱ ソ ^そ コ ^こ ン ^ん を ^を 持 ^も っ ^つ て ^て い ^い る |
| 2. 自 ^じ 分 ^{ぶん} は ^も 持 ^も っ ^つ て ^て い ^い な ^な い ^い が、家 ^{かぞく} 族 ^{ぞく} が ^も スマ ^{すま} ー ^と フ ^ふ ォ ^{おん} ・タ ^た ブ ^ぶ レ ^れ ッ ^つ ト ^と ま ^ま た ^た は ^は パ ^ぱ ソ ^そ コ ^こ ン ^ん を ^を 持 ^も っ ^つ て ^て い ^い る |
| 3. 誰 ^{だれ} も ^も 持 ^も っ ^つ て ^て い ^い な ^な い |

○ あなたの^{にちじょうせいかつ}日^{にち}常^{じょう}生^{せい}活^{かつ}について

とい 問11. 普^ふ段^{だん}の生^{せい}活^{かつ}で支^し援^{えん}を^{ひつ}必^{ひつ}要^{よう}と^なして^ない^いる^にこ^こと^は何^{なに}で^すか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|---|---|
| 1. 起 ^き 床 ^{しょう} ・就 ^{じゅう} 寝 ^{しん} | 2. 排 ^{はい} 泄 ^{せつ} (トイ ^と レ ^れ な ^な ど) | 3. 洗 ^{せん} 顔 ^{がん} ・歯 ^は 磨 ^{みが} き |
| 4. 食 ^{しょく} 事 ^じ | 5. 着 ^き 替 ^が え | 6. 入 ^{にゅう} 浴 ^{よく} |
| 7. 屋 ^{おく} 内 ^{ない} 移 ^い 動 ^{どう} | 8. 服 ^{ふく} 薬 ^{やく} | 9. 外 ^{がい} 出 ^{しゅつ} |
| 10. 買 ^か い物 ^{もの} | 11. 通 ^{つう} 院 ^{いん} | 12. 見 ^み 守 ^{まも} りな ^な ど ^の 生 ^{せい} 活 ^{かつ} 全 ^{ぜん} 般 ^{ぱん} |
| 13. 人 ^{ひと} と ^の コ ^こ ミ ^み ュ ^ゆ ニ ^に ケ ^け ー ^し ョ ^よ ン | 14. 家 ^か 事 ^じ (掃 ^{そう} 除 ^じ ・洗 ^{せん} 濯 ^{たく} ・料 ^{りょう} 理 ^り) | |
| 15. お金 ^{かね} の ^{かん} 理 ^り | 16. 情 ^{じょう} 報 ^{ほう} の ^{しゅう} 収 ^{しゅう} 集 ^{じゅう} | 17. 各 ^{かく} 種 ^{しゅてつづ} 手 ^て 続 ^{つづ} き ^{かん} 関 ^{けい} 係 ^{けい} |
| 18. その他 (具 ^ぐ 体 ^{たい} 的 ^{てき} に: _____) | | |
| 19. 特 ^{とく} に ^{しえん} 支 ^し 援 ^{えん} を ^{ひつ} 必 ^{ひつ} 要 ^{よう} と ^す る ^こ と ^は な ^い | | |

とい 問12. 普^ふ段^{だん}、支^し援^{えん}や世^せ話^わを^う受^うけ^てい^ます^か。(○は1つだけ)

- | | |
|--|---|
| 1. 受 ^う け ^て い ^ま る → 問12-1へ | 2. 受 ^う け ^て い ^ま ら ^な い → 問13へ |
|--|---|

問12-1 問12で「1. 受けている」と答えた方にお聞きします。

主にどなたが支援や世話をしていますか。(〇は1つだけ)

| | | |
|----------------------|------------|------------|
| 1. 親または祖父母 | 2. 配偶者 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 子または子の配偶者 | 5. その他の親せき | 6. ボランティア |
| 7. 施設の職員 | 8. ホームヘルパー | 9. 近所の人・知人 |
| 10. その他(具体的に: _____) | | |

問12-2 問12-1で「1. 親または祖父母」「2. 配偶者」「3. 兄弟姉妹」「4. 子または子の配偶者」「5. その他の親せき」と答えた方にお聞きします。

主な介助・支援者の年齢はおいくつですか。(〇は1つだけ)

| | |
|--------------|--------------|
| 1. 30歳未満 | 2. 30歳代～40歳代 |
| 3. 50歳代～60歳代 | 4. 70歳以上 |

問13. 普段の日中、どのようにお過ごしですか。(あてはまるものすべてに〇)

| | |
|------------|------------------------------------|
| 学校などに通っている | 1. 幼稚園・保育園・こども園に通っている |
| | 2. 通園施設(児童発達支援事業所を含む)に通っている |
| | 3. 特別支援学校に通っている |
| | 4. 小・中学校の特別支援学級に通っている |
| | 5. 小・中学校の普通学級、高校、大学、専門学校に通っている |
| 働いている | 6. 会社や店などで働いている、または公務員をしている |
| | 7. 自分で事業・商売をしている |
| | 8. 家族の事業・商売を手伝っている |
| | 9. 自宅で内職をしている |
| その他 | 10. 就労訓練に通っている(就労移行支援・就労継続支援A型・B型) |
| | 11. 療養を中心とした生活をしている(入院、デイケア通所を含む) |
| | 12. 福祉施設(地域活動支援センター、生活介護など)に通っている |
| | 13. 家事や子育て・介護などを行っている |
| | 14. 特に何もしていない |
| | 15. その他(具体的に: _____) |

問14. 普段、どのような目的で外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 通園・通学・通勤のため | 2. 通所施設や作業所に通うため |
| 3. 買い物などの日常的な用事のため | 4. 病院での診察やデイケアに行くため |
| 5. 市役所など公的な手続きのため | 6. 趣味の活動やスポーツのため |
| 7. グループ活動に参加するため | 8. 友人と会ったり、遊んだりするため |
| 9. 習いごとや塾などのため | 10. 散歩のため |
| 11. その他(具体的に: _____) | |
| 12. 特に目的は決まっていない | |

問15. 普段どのくらいの割合で外出しますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2~4回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に1~2回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. ほとんど外出しない |

問16. 外出したり、外出しようとするときに困ることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 電車やバスなどの利用がむずかしいこと(どれに乗ったらいいかわからないなど) |
| 2. まちがバリアフリーになっていないこと (段差や障害物がある、音声案内や点字ブロック、案内表示が整備されていないなど) |
| 3. 利用できるトイレが少ないこと |
| 4. 周囲の目が気になること |
| 5. 健康や体力面で不安がある、疲れやすいこと |
| 6. 他人とのコミュニケーションがむずかしいこと |
| 7. 人の多いところでは精神的に不安定になること |
| 8. 障がいや病気が原因で、突発的な行動をすることがあること |
| 9. 外出の準備がたいへんなこと |
| 10. 交通ルールがわからないので介助者が必要なこと |
| 11. 付き添いや介助者の確保がむずかしいこと |
| 12. 困ったときにどうしたらよいかわからないこと |
| 13. 新型コロナウイルスなどの感染の心配があること |
| 14. その他(具体的に: _____) |
| 15. 特に困ることはない |

とい 問17. ^{にちじょうせいかつ}日常生活において^{こま}困っていることや^{しんぱい}心配なことがありますか。
^{げんざい}現在の^{こま}困っていることと^{しょうらい}将来の^{しんぱい}心配、それぞれについて^{こた}お答えください。
 (それぞれあてはまるものすべてに○)

| | ^{げんざい} 現在の ^{こま} 困っていること | ^{しょうらい} ^{しんぱい} 将来の心配 |
|--|--|---|
| 1. ^{ほんにん} 本人の ^{しゅうにゅう} 収入が ^{じゅうぶん} 十分でないこと | 1 | 1 |
| 2. ^{かいごしゃ} 介護者や ^{かいじょしゃ} 介助者がいない、 ^{じゅうぶん} 十分でないこと | 2 | 2 |
| 3. ^{けんこうじょうたい} 健康状態がわるいこと | 3 | 3 |
| 4. ^{しょう} 障がいの程度がすすむこと | 4 | 4 |
| 5. ^す 住まいの ^{せつび} 設備が ^{ふじゅうぶん} 不十分なこと | 5 | 5 |
| 6. ^{ひつよう} 必要な ^{ふくし} 福祉サービスを ^う 受けられないこと | 6 | 6 |
| 7. ^{しょくば} 職場や ^{ちいき} 地域の ^{にんげんかんけい} 人間関係のこと | 7 | 7 |
| 8. ^{ゆうじん} 友人がいない、 ^{すく} 少ないこと | 8 | 8 |
| 9. ^{がっこう} 学校の ^{べんきょう} 勉強についていけないこと | 9 | 9 |
| 10. ^{がっこう} 学校の ^{せつび} 設備が ^{ふじゅうぶん} 不十分なこと | 10 | 10 |
| 11. ^{かぞく} 家族の ^{ふたん} 負担が ^{おお} 大きいこと | 11 | 11 |
| 12. ^{しゅうしょく} 就職や ^{しんがく} 進学のこと | 12 | 12 |
| 13. ^す 住まいの ^{かくほ} 確保が ^{こんなん} 困難なこと | 13 | 13 |
| 14. ^{きゅうびょう} 急病になったときのこと | 14 | 14 |
| 15. ^{さいがい} 災害が ^お 起きたときのこと | 15 | 15 |
| 16. その他 (^{ぐたいてき} 具体的に：)) | 16 | 16 |
| 17. ^{とく} 特にない | 17 | 17 |

問17-1. 問17で「11. 家族の負担が大きいこと」と回答された方におたずねします。
ご家族の負担の内容はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通学、(通園)や通院時の送迎
2. 障がいの重さや特性への対応がむずかしいこと
3. 長期休暇、土日、放課後の生活
4. 経済的な負担
5. 特定の家族にかかる介護や介助の負担
6. 障がいに対する周囲の理解不足による精神的な負担
7. その他(具体的に: _____)

問17-2. 問17で「13. 住まいの確保が困難なこと」と回答された方におたずねします。

困難な内容はどれですか(あてはまるものすべてに○)

1. アパートなどの家賃が高い
2. 障がいを理由にアパートなどが借りられない
3. グループホームなどが不足している
4. バリアフリーのアパートなどが少ない
5. その他(具体的に: _____)

○ 障害福祉サービスなどの利用について

問18. あなたは、現在、障害福祉サービス、児童通所サービスまたは地域生活支援事業を利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している ⇒ 問19にお進みください。
2. 利用していない ⇒ 問20にお進みください。

問19. 問18で「1. 利用している」と回答された方におたずねします。

どのサービスを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護 (ホームヘルプ) | 2. 重度訪問介護 |
| 3. 行動援護 | 4. 同行援護 |
| 5. 短期入所 | 6. 生活介護 |
| 7. 就労継続支援A型 | 8. 就労継続支援B型 |
| 9. 就労移行支援 | 10. 就労定着支援 |
| 11. グループホーム | 12. 自立訓練 (機能訓練・生活訓練) |
| 13. 宿泊型自立訓練 | 14. 児童発達支援 |
| 15. 放課後等デイサービス | 16. 日中一時支援 |
| 17. 移動支援 | 18. 福祉ホーム |
| 19. 地域活動支援センター | 20. 訪問入浴 |
| 21. 安心生活相談事業 | 22. ひとり暮らし体験事業 |
| 23. その他 () | |

問20. 問18で「2. 利用していない」と回答された方におたずねします。

受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 利用しなくても生活できるから | 2. 家族の介護や介助を受けているから |
| 3. 他人に家に入ってほしくないから | 4. 利用者負担 (利用料金) が高いから |
| 5. 利用の手続きの仕方がわからないから | 6. 利用したいサービスがないから |
| 7. 送迎がないなど利用しにくいから | 8. サービスがあることを知らないから |
| 9. 入退院をくり返しているから | 10. 以前に利用してよくない印象があるから |
| 11. サービスを利用することに気持ちが向かないから | |
| 12. その他 (具体的に: _____) | |

問21. あなたが毎日の生活を送るうえで、今後、特に必要な支援・サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅などを訪問し、介護してくれるホームヘルプサービス
2. 生活介護・地域活動支援センターなどの日中活動の場
3. 就労訓練・自立訓練などの支援
4. 同行援護・行動援護・移動支援などの外出するための支援
5. 短期入所や日中一時支援などの緊急時の預かり支援
6. 放課後等デイサービス・児童発達支援などの療育支援
7. 車いす・補聴器などの補装具や日常生活に必要な用具の普及や充実
8. グループホーム・福祉ホーム・入所施設などの生活や居住の場
9. 福祉サービスを利用するための情報提供や身近な相談窓口
10. その他(具体的に: _____)
11. 特になし

○ 保健・医療について

問22. あなたの現在の通院状況(リハビリを含む)は、どれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 1か月に2回以上 | 2. 1か月に1回程度 |
| 3. 2~3か月に1回程度 | 4. 半年に1回程度 |
| 5. 年に1回または数年に1回程度 | 6. 入院中 |
| 7. 定期的に通院していない | |

問23. 医療を受ける上で困っていることはありますか。(○は主なもの3つまで)

1. 医療費の負担が大きいこと
2. 通院費(交通費)の負担が大きいこと
3. 通院のための移動が困難であること
4. 入院中の付き添いがいないこと
5. 専門的な治療ができる病院が近くにないこと
6. 障がいや理由として治療を受けにくいこと
7. 病状の理解がむずかしく症状を上手に伝えられないこと
8. コミュニケーションが困難(手話、要約筆記などが無い)なこと
9. 障がいや病気が原因で、突発的な行動に出ることがあること
10. その他(具体的に: _____)
11. 特に困っていることはない

⇒18歳未満の方は問26へ

○ 就労支援について（18歳以上の方のみお答えください）

問24. あなたは、収入を得る仕事を継続もしくは今後したいとお考えですか。

（○は1つだけ）

1. 今の仕事を続けたい
2. 新しい仕事（転職）を考えている
3. 仕事はしたくない、もしくはできない
4. 今のところわからない
5. 就労支援を受けている
6. 仕事を探している
7. その他（具体的に： _____）

問25. あなたは、障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思えますか。

（○は主なもの3つまで）

1. 通勤手段が確保できること
2. 職場にバリアフリーの配慮がされること
3. 短時間勤務や勤務日数などの配慮がされること
4. 職場の上司や同僚に障がいに対する理解があること
5. 職場で介助や援助などが受けられること
6. 働き続けるための支援があるなど、職場と支援機関の連携がとれていること
7. 企業のニーズにあった就労訓練が受けられること
8. 仕事について、職場以外で気軽に相談できる場所があること
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない（わからない）

○ ^{そうだんしえん} ^{じょうほう}
相談支援や情報について

問26. あなたは、^{なや} ^{しんぱい} ^{そうだん}
悩みごとや心配ごとがあるとき、どなた（どこ）に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. ^{かぞく} ^{しん} ^{せき} 家族・親せき | 2. ^{ゆうじん} ^{ちじん} 友人・知人 |
| 3. ^{しよくば} ^{じょうし} ^{どうりょう} 職場の上司・同僚 | 4. ^{ほいくしょ} ^{ようちえん} ^{がっこう} ^{せんせい} 保育所・幼稚園・学校の先生 |
| 5. ^{いし} ^{かんごし} ^{ケースワーカー} ^{しどういん} かかりつけの医師・看護師・ケースワーカー・指導員など | |
| 6. ^{ていきょうじぎょうしょ} (ヘルパーや ^{つうしょじぎょうしょ} 通所事業所) | |
| 7. ^{せいかつしえん} ^{そうだんしえんせんもんいん} 生活支援センター・相談支援専門員 | 8. ^{しやくしょ} ^{ほけんじょ} 市役所・保健所 |
| 9. ^{しゃかいふくしきょうぎかい} 社会福祉協議会 | 10. ^{みんせいいいん} ^{じどういいん} 民生委員・児童委員 |
| 11. ^{こどもサポートセンター} | 12. ^{しょう} ^{しゃだんたい} ^{かぞくかい} 障がい者団体・家族会 |
| 13. ^{ちいきほうかつしえん} 地域包括支援センター・ケアマネジャー | |
| 14. その他（具体的に： <input type="text"/> ） | |
| 15. ^{そうだん} ^{ひと} 相談する人（ところ）がない | 16. ^{そうだん} ^{おも} 相談したいとは思わない |

問27. あなたは、^{ふくし} ^{じょうほう} ^{おも} ^え
福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. ^し ^{けん} ^{こうほうし} 市・県の広報紙 | 2. ^し ^{けん} ^{ホームページ} 市・県のホームページ |
| 3. ^{パソコン} ^{スマートフォン} など | 4. ^{テレビ} ^{ラジオ} ^{しんぶん} ^{ざっし} テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など |
| 5. ^{せいかつしえん} ^{そうだんしえんせんもんいん} 生活支援センター・相談支援専門員 | 6. ^{しょう} ^{しゃだんたい} ^{しえんだんたい} 障がい者団体・支援団体 |
| 7. ^{がっこう} ^{しよくば} ^{しせつ} 学校・職場・施設など | 8. ^{みんせいいいん} ^{じどういいん} 民生委員・児童委員 |
| 9. ^{いりょうきかん} ^{いし} ^{かんごし} ^{ケースワーカー} ^{しどういん} 医療機関の医師・看護師・ケースワーカー・指導員など | |
| 10. ^{しんたい} ^{ちてきしょうがいしゃ} ^{そうだんいん} 身体・知的障害者相談員 | |
| 11. ^{ていきょうじぎょうしょ} (ヘルパーや ^{つうしょじぎょうしょ} 通所事業所) | |
| 12. ^{かぞく} ^{しん} ^{せき} など | 13. ^{ゆうじん} ^{ちじん} 友人・知人 |
| 14. その他（具体的に： <input type="text"/> ） | |
| 15. ^{じょうほう} ^え 情報を得ていない | |

^{しつもん} ^{すこ}
質問はあと少しです。
^{ねが}
よろしく願います。



○ さいがいに ひなん 災害時の避難などについて

問28. さいがいに おけるあなたの じょうきよう 状況についておたずねします。

① ひitori ひなん 一人で避難できますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

② しゅうい ひと いばしよ し 周囲の人に居場所を知らせることができますか。(きき などによる つうち ふく 通知を含む)
(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

③ きんじよ たす ひと 近所に助けてくれる人がいますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問29. さいがいはっせい に あなたが しえん 支援してほしいことは何ですか。

(○はおもなもの3つまで)

1. さいがいに じょうほう し 災害情報を知らせてくれること
2. ひなんばしよ ひなんけいろう おし 避難場所や避難経路を教えてください
3. ひなんじ こえ 避難時に声をかけてくれること
4. ひなんばしよ ひなん しえん 避難場所までの避難を支援してくれること
5. ひなんばしよ しやう おう こま しえん 避難場所で障がいに応じたきめ細かな支援をしてくれること
6. ひつやう ちりやう くすり かくほ 必要な治療や薬を確保してくれること
7. しゅわ などコミュニケーション手段を確保してくれること
8. ひなんばしよ せつび か 避難場所の設備をバリアフリー化すること
9. その他(具体的に: _____)
10. とく にない(わからない)

問30. いこましさいがいに じようえんごしやひなんしえんじぎやう し 「生駒市災害時要援護者避難支援事業」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------|
| 1. ないやう まで知っている | 2. なまえ だけは知っている | 3. しらない |
|-----------------|-----------------|---------|

※ いこましさいがいに じようえんごしやひなんしえんじぎやう 「生駒市災害時要援護者避難支援事業」とは

しぜんさいがいに げんそく ふうすいがい どしやさいがいに はっせい ばあい とき そな 自然災害(原則として風水害や土砂災害)が発生した場合やそのおそれがある時に備えて、ひなんしえん ひつやう ひと じようほう し じちかい きやうゆう ひなん 避難支援を必要とする人の情報を、市や自治会などで事前に共有することで、避難時の手助けなどを地域のなかですばやく 行えるよう、地域での助け合い(共助)による支援体制を整備するものです。

○ けんりようご
権利擁護などについて

問31. あなたは、次の制度などについて知っていますか。また利用したいとおもいますか。

- ① 日常生活に不安のある障がい者や高齢者に対して、金銭管理などの日常生活に関する支援や成年後見制度などの相談を行う『生駒市権利擁護支援センター（福祉センター内）』について。（○は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1. どのような施設か内容まで知っている |
| 2. 名前は聞いたことがあるが、どのような施設かよく知らない |
| 3. 聞いたことがない、知らない |

- ② 『生駒市権利擁護支援センター』の利用について。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 今は必要ないが、将来利用したい |
| 3. 利用したいとは思わない | 4. わからない |

- ③ 知的障がい、精神障がい、認知症などにより判断能力が十分でない方が不利益を受けないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう『成年後見制度』について。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている | 3. 知らない |
|--------------|---------------|---------|

- ④ 『成年後見制度』の利用について。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 現在、利用している | 2. 今は必要ないが、将来利用したい |
| 3. 利用したいとは思わない | 4. わからない |

- ⑤ 障がい者虐待について、相談・通報の連絡先として市役所内に設置している『障害者虐待防止センター（虐待通報窓口）』について。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている | 3. 知らない |
|--------------|---------------|---------|

問32. 役所や事業者に「障がいのある人に対するバリアを取り除くための配慮（合理的配慮）」を求める障害者差別解消法について知っていますか。

（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている | 3. 知らない |
|--------------|---------------|---------|

問33. 生駒市では「外見から分からなくても配慮や援助を必要としている方」が身につけたり所持したりすることで、配慮などを必要としていることを示す「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の携帯をすすめています。また、ちょっとした手助けをしてくださる方を増やすために「あいサポーター養成講座」を実施し、「あいサポートバッジ」を配布しています。

① 「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
| 3. 知らない | |

「ヘルプマーク」



「ヘルプカード」



② 「あいサポーター養成講座」についてお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 受講した | |
| 2. 受講したことはないが、講座内容まで知っている | |
| 3. 聞いたことはあり、名前だけは知っている | |
| 4. 知らない | |

③ あいサポーターには「あいサポートバッジ」を身につけていただくことをすすめています。バッジについてお答えください (〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 身につけている | 2. 持っているが身につけていない |
| 3. つけている人は見たことがある | 4. 見たことがない |

「あいサポートバッジ」



問34. あなたは、普段のくらしの中で、障がい者への差別や偏見があると感じますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. あると感じている (感じた) | 2. 感じたことはないが、あると思う |
| 3. 感じたことはない | 4. わからない |

問34-1. 問34で差別や偏見があると回答された方におたずねします。
差別や偏見をどのような機会や場所で感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 学校で | 2. 就職のとき |
| 3. 賃金や待遇など仕事のうえで | 4. 職場の上司や同僚の態度で |
| 5. 結婚や交際のとき | 6. 親戚づきあいで |
| 7. 友人どうしの会話の中で | 8. 近所づきあいで |
| 9. 地域の行事で | 10. まちなかでの人の視線や言動で |
| 11. 店での扱いや店員の態度で | 12. 公共機関の窓口や職員の態度で |
| 13. その他 (具体的に: _____) | |

○ コミュニケーションについて

問35. 令和2年4月1日に「生駒市手話言語の普及並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない | |

※「生駒市手話言語の普及並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例」とは
手話が言語であることの普及並びに障がいの特性に応じた情報の取得又は利用、意思の表示やコミュニケーションの手段の理解及び利用の促進を図ることにより、全ての市民が障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するための条例です。

問36. コミュニケーションに支障を感じるがありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 時々ある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

問37. 利用したことがあるコミュニケーション手段は何ですか。また、今後利用してみたいコミュニケーション手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①利用したことがあるコミュニケーション手段

| | |
|----------------------|------------|
| 1. 手話 | 2. 筆談 |
| 3. 要約筆記 | 4. 点字 |
| 5. 音訳 | 6. 拡大鏡 |
| 7. 絵図 | 8. 写真 |
| 9. サイン | 10. ジェスチャー |
| 11. 代用音声 | 12. 意思伝達装置 |
| 13. パソコン・スマートフォンなど | |
| 14. その他(具体的に: _____) | |

※代用音声とは

食道発声、人工喉頭による発声、シャント発声などの声の代わりに音を出す方法のことです。

②今後利用してみたいコミュニケーション手段

| | |
|----------------------|------------|
| 1. 手話 | 2. 筆談 |
| 3. 要約筆記 | 4. 点字 |
| 5. 音訳 | 6. 拡大鏡 |
| 7. 絵図 | 8. 写真 |
| 9. サイン | 10. ジェスチャー |
| 11. 代用音声 | 12. 意思伝達装置 |
| 13. パソコン・スマートフォンなど | |
| 14. その他(具体的に: _____) | |

問38. この条例に関して、ご意見があればご記入ください。

○ いこまし とりくみ
生駒市の取組について

問39. 今後、生駒市が推進する障がい福祉施策について、あなたの思う「重要度」「満足度」についてそれぞれあてはまるものを1つずつお答えください。

| 項目 | 重要度 | | | | | 満足度 | | | | |
|---|-------|----------|-----------|-----------|-------|-------|---------|-----------|-----------|-------|
| | 重要でない | あまり重要でない | どちらともいえない | まあまあ重要である | 重要である | 不満である | やや不満である | どちらともいえない | まあまあ満足である | 満足である |
| 1. 地域で安心して生活できる場所の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. サービスについての相談窓口 (苦情の相談も含む)の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 施設やサービスの内容についての 情報提供の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 身近で相談できる場所や人の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 障がい者理解のための啓発活動や 体験学習などの充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 自分の権利を守る権利擁護の しくみの充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 障がい者どうしの活動の支援の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 親の会・家族会など家族への支援の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 障がい者にかかわるボランティア活動の 充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 障がい者が参加しやすい地域活動や レクリエーションなどの充実支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. その他 (具体的に：_____) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

○ ^い ^も ^{かた} 生きいきクーポンをお持ちの方へ

^い ^{けん} ^い ^{けん} ^{よう} ^{ぼう} 生きいきクーポン券について、ご意見・ご要望があればコールセンター 0120-381-288
^{つた} ^し ^ゆ ^く ^じ ^つ ^の ^ぞ ^へ ^い ^じ ^つ ^じ へお伝えください。(祝日を除く平日9時~17時)
^で ^ん ^わ ^こ ^ん ^な ^ん ^ば ^あ ^い ^い ^か ^か ^か ^ま なお、お電話が困難な場合は、以下にお書きいただいても構いません。

○ ^し ^{やう} ^ふ ^く ^し 障がい福祉について、^い ^{けん} ご意見などを^じ ^{ゆう} ^か ご自由にお書きください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

^が ^つ ^に ^ち 9月 日 (・) までに同封の封筒に入れ、き っ て は 切手を貼らずにポストに
^い 入れてください。
^き ^{やう} ^り ^よ ^く ご協力ありがとうございました。